



崎原だより

創立118年 奄美市立崎原小中学校
学校だより 令和8年度 8月号
発行 令和8年 8月 21日

少人数・小規模の良さ

崎原小中学校長 宮村 雄一郎

- 今年度の全国学力・学習状況調査の結果について、奄美大島の新聞2社は8月4と5日に続けて記事を掲載しました。この調査は年度当初の4月に、小学6年生（国語、算数）と中学3年生（国語、数学、英語）で実施されたものです。2社とも大きな見出しは、「中学校全教科全国下回る」というものでした。特に数学は大きな差があったようです。

この結果について学校は自校の結果を保護者や地域に公表するようになっていきます。ただ本校のような小規模校（小6：1人、中3：3人受験）では、公表が学校の傾向というよりそのまま個人の結果を反映してしまうため、控えるところが多いようです。ただそのことは、より一人一人の結果に寄り添い指導できるということです。本校でも、今後の指導に尽力していきたいと思えます。

- 7月2日に開催された、第1回学校保健委員会（ワークショップ「CBT（認知行動療法）をやってみよう」講師 SC 水野 泉 先生）の出席者6人から出された感想（提出は4人）を紹介します。

- ・ ストレスを表現しようと思ったら、思っていたより難しかった。
- ・ 書いているうちにそのストレスが何でできたのか、対策もできそう。
- ・ ストレスをなくすことは難しいので、ストレスをどう対処していくかが大切だなあと思いました。
- ・ 個人的に自分の気分を上げる行動はするけど、自分の感情をよく見てなかったなあと思えます。自分を見つめ直す貴重な時間となりました。
- ・ 大人の私たちでも自分の感情を言語化するのは難しいので、子どもたち、思春期にはとても良いと思えました。
- ・ 「カッ」となっている時は、行動の選択肢が「自分のその時のイライラを解消する方法」だけに狭まってしまう。誰にも考え方には癖があることに気づくことが大切。
- ・ 今回のように平常心で居るときに、「カッ」となった時の自分の行動を考え直してみるとほかにも選択肢があったことに気づく。今回の気づきを次回「カッ」となった時に思い出したい。そしたら子どもたちにも嫌な思いをさせることなく、笑顔の家庭が築けるかなと思った。

ご出席、またとても有意義なご意見をありがとうございました。

伝言板

- ・ 2学期始業式に向けて

夏休みもいよいよあと10日ほどになりました。今年度は水の事故や交通事故のニュースを多く見聞きする気がします。残りの夏休みを子供たちが安全に過ごし、9月1日の始業式にはぜひ全員元気出席してほしいものです。そのために保護者の見守りや励ましを、どうかよろしくお願いいたします。

9月の主な行事

1日(火)2学期始業式

※児童生徒下校13時半頃

いじめ問題を考える週間（～7日）

2日(水)小学部4校時授業（～8日）

4日(金) 中3実力テスト, 中1・2課題テスト

17日(木)スクールカウンセラー来校日

28日(月)身体計測・視力検査